

平成29年度第1回東成区区政会議 会議録

1 開催日時 平成29年7月12日（水） 15時から16時50分まで

2 開催場所 東成区民センター 2階大ホール

3 出席者の氏名

【委員】

清水 弘（議長）、濱田 麗史（副議長）、阿形 正一、石川 洋志、梅本 千代子、大垣 孝子、岡坂 明、岡本 秀男、北岸 佳子、栗巢 和子、桑田 泰彦、五嶋 キクエ、小谷 早苗、小林 智恵子、杉原 博、高野 千壽子、田中 英夫、田中 倬雄、永田 久、中野 壽夫、西村 良之介、野坂 万喜子、羽鹿 誠一、橋本 輝枝、降幡 一雄、細谷 悦子、増田 博、松井 克記、松田 和子、松山 正樹、三枝 直美、山本 忠男、吉田 五郎

【市会議員】

川嶋 広稔、岡崎 太、則清 ナヲミ

【東成区役所】

麻野 篤（東成区長）、木口 剛一（東成区副区長）、足立 幸彦（総務課長）、中須賀 孝（総合企画担当課長）、原 敏浩（市民協働課長）、大野 聡（まちづくり担当課長）、西山 明子（保健福祉課長）、北野 紀子（児童・保健担当課長）

4 委員に意見を求めた事項

平成28年度東成区運営方針の振り返り及び平成29年度の事業等について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○中須賀課長 皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、東成区区政会議にご出席を賜りまして、ありがとうございます。私は進行役を務めさせていただきます、東成区役所総務課総合企画担当課長の中須賀でございます。よろしくお願いいたします。

ただいまから、平成29年度第1回東成区区政会議を開催いたします。

まず、本日の区政会議の開催状況でございますが、委員44名中33名のご出席をいただいております。したがって、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第5項によりまして、本会議が有効に成立している旨、ご報告申し上げます。なお、家門委員におかれましては、出席予定でしたが急用のため欠席されております。あの方につきましては、今のところ連絡は入っておりませんので、遅れてお見えになるものと思われま

す。続きまして、会議の進行に当たりまして注意事項を申し上げます。

まず、当区政会議は、条例により公開することとなっておりますので、ご了承をお願いします。傍聴者の皆様による写真撮影や録画、録音につきましては、円滑な議事運営のため、傍聴者席からでお願いいたします。

また、区役所で区政会議の記録を残しておくため、広報担当者を決めております。広報担当者によりまして会議中の撮影につきましては、ご了承をいただきたいと存じます。本日の会議内容は、後日、議事録を公開する予定でございます。

最後に、会場にお越しの全ての方におしんげい申し上げます。携帯電話、スマートフォンなどは、電源をお切りいただくか、マナーモードに設定していただき、会場内での通話にご遠慮いただきますようお願いいたします。

それでは、資料の確認をさせていただきます。事前に70ページものの資料をお送り

させていただきました。こちらの資料は先に開催しました各部会において使用した資料です。本日もこの資料の3ページ目から、資料2の部分を使用いたします。それと本日、机上に次第と配席図、資料1 委員名簿、資料3 としまして29年度第1回各部会での主な意見、資料4 としまして、東成区子育てふれあいサークル大集合アンケート結果、これらを追加資料としてお配りさせていただいております。不足などはございませんでしょうか。

それでは最初に、区長の麻野よりご挨拶をさせていただきます。

○麻野区長　皆さんこんにちは。東成区長の麻野です。よろしく申し上げます。本日はお忙しい中、平成29年度第1回区政会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

今般、当区役所におきまして平成28年度、昨年度の運営方針の振り返り、自己評価を行いました。今回の区政会議に先立ち開催されました各部会では、私どもから振り返りの結果をご報告させていただいて、それから本年度の主な取組みをご説明させていただきました。それをふまえ各部会で活発なご意見をいただきました。

今日はこの後、各部会からのご議論の内容をご報告していただくとともに区役所の取組みに関しまして、皆様方から積極的なご意見、ご提案をいただき、今後の区役所の施策事業に活かしてまいりたいと考えております。

当区役所では、安心安全、子育て教育、福祉健康、まち魅力、区役所力、この5本柱で事業を行ってきております。私にとっては今回初めての区政会議でございますけれども、これまで築き上げた区民の皆様との信頼関係、連携関係をベースにしまして、この5本柱をしっかりと継続してまいりたいとこのように思っております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

それから去る4月、2025年の日本万国博覧会の大阪誘致が日本政府の閣議了解を受けております。大阪市は地元としてこれに向けた様々な取組みを行ってまいりますので、こちらについても皆様方のご支援、ご協力をお願いしたいと思っております。

それでは本日は忌憚のないところご意見をいただけたらと考えておりますので、皆様の活発なご意見をお願いいたします。どうもありがとうございました。

○中須賀課長　それでは清水議長に今後の議事運営をお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

○清水議長　議事に入ります前に、傍聴者の皆さんにご案内がございます。先ほど注意事項がございましたが、ぜひ守っていただきますようお願いを申し上げます。

それでは早速議題に入りたいと思います。平成28年度東成区区政運営方針を振り返って、並びに平成29年度の事業等について報告をお願いしたいと思います。

○中須賀課長　総合企画担当課長の中須賀でございます。平成28年度運営方針の振り返りの総括を説明させていただきます。資料2の21ページ自己評価のところをご覧くださいでしょうか。

まず、1年間の取組成果と今後取り組みたいことですが、課題1の「安全で安心なまちづくり（防災、防犯）」では、地域実情に合った地域防災計画の策定や、収容避難所運営等の実践的な防災訓練を各地域が主体的に実施できるように支援するなど、地域防災力の向上に取り組みました。また、子どもたちの自主防犯意識向上のために防犯教室を開催するとともに、地域や警察と連携し、地域の自主防犯意識の促進、並びに街頭犯罪の抑止に努めてまいりました。引き続き、災害に備えた地域で助け合う体制づくりの支援や防犯カメラの設置を行うことで安全で安心なまちづくりを進めてまいります。

課題2の「教育環境と子育て支援の充実」では、学校長等との意見交換を通じて区役所と学校とが連携し、小学生スポーツ交歓会や、学習会などを行うなど特色ある学校づくりの支援を行ってまいりました。また、地域や子育てサークル等と連携した子育てイベント「子育てふれあいサークル大・集・合！」などを開催し、地域で子育て世帯を支援する環境づくりに努めてまいりました。引き続き、家庭や地域、学校、子育て支援施設等との連携によりイベント内容の充実や情報発信を強化し、教育環境の

整備と子育て支援に取り組んでまいります。

課題3の「地域福祉・健康づくりの充実・推進」では、「おまもりネット事業」の相談説明会を区役所内で開催することで、新規登録者の増加に努めますとともに、緊急時の安否確認を行う「かぎ預かり事業」を開始するなどセーフティーネット構築を推進してまいりました。また、百歳体操の実施支援や、がん検診等の啓発を行ってまいりました。引き続き地域や関係機関と連携し、より重層的なセーフティーネットの構築及び健康寿命の延伸に取り組んでまいります。

課題4の「まちの魅力向上」では、モノづくりの魅力を区内外に発信するため、イベントの実施やマスメディアを利用した情報発信を行うとともに、まちの魅力について次世代を担う子どもたちの理解促進を図ってまいりました。さらに地域資源や各種団体等のネットワークを活用した「ひがしなり街道玉手箱」を開催することにより、地域の活性化に努めてまいりました。引き続き多様な地域、団体と協働しながら東成区の魅力向上に取り組んでまいります。

課題5の「区民が利用しやすく信頼される区役所づくり」では、区政会議の開催や、各地域、団体との日常的なコミュニケーションを通じて、区民の多様な意見やニーズの収集を行うとともに、いただいた意見を区政運営に反映するよう努めてまいりました。また、区民サービス向上を目的とした職員プロジェクトチームを設置し、区民が利用しやすい区役所への改善を図りました。引き続き、区民ニーズを区政運営に反映するよう努めますとともに、利用しやすく信頼される区役所づくりに取り組んでまいります。

次に、解決すべき課題と今後の改善方法についてですが、「まちの魅力向上」について、様々な活動主体の連携強化によりまちづくりが進められていると、より一層区民の皆さんに感じてもらえるよう区民や多様な活動主体と協働しながら、まち歩き等を実施し、東成区の魅力が区内外に発信することで地域の活性化につなげてまいります。また、「区民が利用しやすく信頼される区役所づくり」についても、区政会議や

区民アンケートを通じて区民の皆さんの多様な意見等が区役所に届いていると実感してもらえるように、また区民の皆さんに、より関心を持っていただけるように、広報、情報発信の充実に努めてまいります。28年度運営方針についての自己評価は以上でございます。

続きまして、資料2の見方について説明させていただきます。最初にお配りしております、70ページものの資料、この資料の見方について私から説明をさせていただきます。各部会でも説明をさせていただきましたが、欠席の方もいらっしゃいますので、もう一度説明させていただきたいと思います。3ページを開けていただきまして、この上段に記載してありますように、「運営方針とは」という囲みがありますけれども、市政改革プランなど全市的な方針をふまえて東成区で行う施策の全体像を示す方針として、毎年度作成しているもので、様々な課題解決のための施策や具体的取組を示しているものでございます。東成区では、28年度につきましては、その下に記載しております5つの課題について重点的に取り組んできたところです。参考に、関連する部会ということで、例えば課題1「安全で安心なまちづくり」ですと、にぎわい・きずな部会が関連するという意味です。各課題につきましては、既に各部会が開催されておりますので、後ほど部会議長から報告される予定ですが、部会メンバーからいただいたご意見、それが資料の3ということで本日机上配付させていただいております。

本体資料に戻っていただきまして、4ページをご覧くださいませでしょうか。28年度と29年度の東成区運営方針から要点部分を抜き取りまして、見やすくわかりやすくという観点で編集をしたつもりでございます。本日、主に使いますのは、この資料の5ページから18ページでして、19ページから45ページが大阪市の様式の28年度運営方針、続いて47ページから最終の70ページまでが大阪市の様式の29年度の運営方針となっております。戻っていただきまして、4ページの上の部分、区政会議資料と運営方針と対比例として、区政会議資料5ページに記載の部分为例に、28年度と29年度の本

体の運営方針のどこから抜粋しているか、ということを示しております。課題1の「安全で安心なまちづくり」で4ページの下半部分のところ参考資料1、P24とありますのは、24ページから要点を抜粋していることを示しております。抜粋している部分を太く囲みまして、上へ矢印、この部分というふうに示しております。同様に4ページ真ん中に29年度主な取組内容、参考資料2の50ページ参照とありますけれども、そこには概要を示しております、この詳細については50ページに記載しておりますよということで表記しております。業績目標ですとか具体的取組実績、29年度の主な取組内容など詳しく記載されている部分を確認されたい場合は、この参考資料1のあるいは2の何ページというふうに表記しておりますところをその該当のページをご覧くださいと思います。資料の見方については以上でございます。

続いてそれぞれの課題につきまして担当の課長から説明をさせていただきます。

○原課長 市民協働課長、原でございます。よろしく願いいたします。

資料5ページをご覧ください。課題ごとの実施状況。まず課題1の具体的取組1-1-1地域防災対策の支援でございます。28年度については地区防災計画を策定し、避難所運営訓練などの防災訓練を実施している地域、6地域が目標でしたが、実績としても6地域でございます。具体的には災害対策本部の運営訓練でありますとか、物資の配布、避難者の受け入れなどの運営訓練が行われたようでございます。その下、29年度、本年度の主な取組内容でございますが、昨年度に引き続き地区防災計画に基づいた取組みを進めるとともに、協力企業の登録制度についても進めてまいります。現在のところ、協力企業については57社のご登録をいただいているところでございます。

次に具体的取組の1-2-1防犯意識の向上と関係機関との連携強化でございます。28年度区役所が地域や警察などと連携して取り組む防犯活動を知っている区民の割合、これは目標50%以上でございました。昨年11月に行いました、区民アンケート、無作為に抽出で1,500名の方に実施を行ったものですが、その結果75%の方がご存じだ

ということでした。具体的取組はその下にある通りですけれども、例えば防犯カメラの設置ということで11台。さらにここにはありませんが、区予算ではありませんけれども、大阪市全体予算の中でこれとは別に防犯カメラを10台ということで、合計21台の設置を昨年してまいりました。また、昨年青色防犯パトロールの寄贈を受けましたが、その青パトを地域に貸し出しまして、地域の方々が青パトでの巡回、巡視を行っておられまして、非常に効果があったところでございます。次6ページ、29年度の主な取組については、引き続き防犯カメラの設置などを行うことにしております。

○大野課長　まちづくり担当課長の大野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

学校教育に関しましてご説明させていただきます。7ページをご覧ください。具体的取組2-1-1、子どもが育つ良好な環境整備でございますけれども、小中学校の校長先生との意見交換会を通じまして、学校が必要とする支援を行うというものでございます。具体的には学校長との意見交換会、教育行政連絡会、学校協議会への参加、区内の全小学校が集う講演会等を実施してまいりました。業績目標といたしまして、区役所と連携した事業に満足を感じる学校の割合は50%としておりましたが、アンケートの結果100%ということでしたので、目標達成とさせていただきます。今後引き続き、小中学校との校長との意見交換を行いまして、学校が必要としている支援を行ってまいります。また、子どもたちがスポーツに取り組むきっかけづくりとして、子どもと保護者を対象に7月から8月にかけて、「みんなdeスポーツ教室」という事業を開催することといたしております。以上でございます。

○北野課長　児童・保健担当課長の北野でございます。よろしくお願いいたします。

私から具体的取組2-2-1、子育てネットワーク構築支援事業についてご説明させていただきます。28年度の業績目標につきましては、身近な地域で気軽に子育ての相談ができると感じている、子育て中の区民の割合を50%以上としておりました。

目標値の測定につきましては、子育てイベントにご参加いただいた方へのアンケートで測定いたしました。結果としまして85%の方が「相談ができると感じている」、「ある程度感じている」とご回答いただいております。28年度の具体的な取組みとしましては、1行目の東成区の「すくすく・つながるクラブ」の取組みですが、広報紙やホームページなどでクラブの認知と登録促進に取り組み、年度末には1,551人に登録いただきました。また、この4月から全国の協賛店舗でもサービスが利用できる、内閣府の全国共通子育て支援パスポートとの連携を図りサービスの充実を行いました。現在既に会員登録されている方には広報紙などでカードの更新手続きなどをお願いしているところです。

2つ目についてですが、27年度に引き続き、「子育てふれあいサークル大・集・合！」や「ひがしなりっ子すくすく・つながるうんどうかい」を開催いたしました。また、「ひがしなりっ子すくすく・つながるランド」については、より親子が親しみやすく、また、参加したくなるよう、名称を「子育てフォーラム」から「ひがしなりっ子すくすく・つながるランド」に変更いたしました。また、「プラザ☆フェスタ」については27年度には1回のみ実施だったところを、28年度には深江小学校、区民センターで2回開催したところです。全てのイベントを集計しまして、延べ1,330人の親子にご参加いただきました。

また、3つ目の子育てボランティア、子育て応援隊「さんぼっぼ」につきましては、各地域の子育てサークルなどに派遣し、手遊び、絵本の読み聞かせなどを実施し、地域の子育てサークルを支援いたしました。次のページをご覧ください。29年度の取組みについてですが、引き続き、「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」の充実や子育てイベントの実施、子育てボランティアの育成、派遣など子育て家庭と地域のつながりづくりを支援する仕組みを充実してまいります。また、本年度の「子育てふれあいサークル大・集・合！」は、7月5日水曜日に区民センターで実施いたしました。雨の中、166名の親子にご参加いただき、実施しましたアンケートでは、96%の

方に「満足」、「まあまあ満足」とのご回答をいただきました。また、6月16日に開催しました、子ども・教育部会で、アンケートの結果を知らせて欲しいという委員からのご意見もいただいておりますので、今日配布しております資料4としましてアンケート結果をお配りしております。ご覧ください。部会でいただきましたご意見をふまえて、1-③で「イベントに参加して満足しているか」の問いに加えまして、④で満足している人もそうでない人にもその理由をお伺いしております。③では子育て層の方が欲しいと思っておられる情報は何かなどの質問も追加するなど、次の取組みにつながるよう工夫いたしました。また、他のイベントとしましては、「ひがしなりっ子すくすく・つながるうんどうかい」を9月13日水曜日に、「ひがしなりっ子すくすく・つながるランド」は11月8日水曜日に、いずれも区民センターで開催することが決定しております。

続きまして、次の具体的取組2-2-2子育てにかかる情報提供の充実をご覧ください。28年度の業績目標を区役所からの子育て情報が充実していると感じる区民の割合を60%以上としております。目標値の測定については、イベントや乳幼児健診時のアンケートで測定いたしました。アンケートの結果は81%の方が「充実していると感じている」、「ある程度感じている」とご回答いただきました。具体的な取組みとしては、1つ目のフェイスブックでの情報発信として、子育てに役立つ情報や子育て家庭向けイベント情報、地域交流情報を月20回以上、合計269回発信をしてまいりました。フェイスブックには現在218人の方にフォローをいただいております。また2つ目と3つ目ですが、子育て応援隊と一緒に編集会議を2回実施し、子育て情報のリーフレットを12月に作成いたしました。現在母子手帳交付時などに配付させていただきます。

次の29年度の取組みとしましては、引き続き広報紙やホームページ、フェイスブックでの情報発信に加えまして、4月からはメールマガジンも始めており、メールマガジンには現在439名にご登録いただいております。今後も様々なツールを使いまし

て、子育て家庭に必要とされる、いろいろな情報を発信してまいります。また、前回区政会議で、子育て世代とその世代とのつながりをより深めるためにいろいろな世代を集めるイベントを、というご提案をいただいております。世代間交流につながる事業につきましては、区役所や老人福祉センターで実施しているところですが、これらのイベント情報をひがしなりっ子すくすく・つながる子育て情報やフェイスブック、メールマガジンなどの利用者にも幅広くお届けするなど情報発信を強化することで、世代間交流イベントへの幅広い参加を促進してまいります。

次に、具体的取組 2-2-3、保育所待機児童の解消についてをご覧ください。業績目標である待機児童ゼロについてですが、この4月の東成区待機児童はゼロ人を実現することができました。具体的な取組みとして、保育所長会や民間園長会、また一斉入所選考時への各園への訪問時などの際に保育人数の受け入れ拡大のお願いをしてきたところですが、保育士の確保が難しくなっているなどの状況の中、各園のご理解、ご協力もあり、目標を達成することができたと思っております。しかし、育児休業中や、調査時点での求職活動を行っていないなどの保留児童数は60名でありまして、さらに年度途中の0歳、1歳、2歳児の入所希望については非常に入所が厳しい状況になっております。次のページをご覧ください。29年度も引き続き保育枠拡大に努めていきたいと考えております。さらに30年度に向け、現在80人規模の民間の認可保育所が2社決定しており、0、1、2歳児対象の小規模保育施設については現在募集中であります。また、区役所内保育施設の募集も現在7月11日に締め切りさせていただいたところで、今後選考を行うことになっております。30年4月1日には、待機児童が0人になりますよう保育所整備を行ってまいりたいと考えております。

○西山課長 保健福祉課長の西山です。よろしくお願いいたします。

10ページをご覧ください。課題3、地域福祉・健康づくりの充実・推進のところの担当部分をご説明させていただきます。誰もが安心して暮らしていけるように地域における支え合いを充実させていって、地域福祉を推進していくことを課題としてい

るところでございますが、その具体的な取組みとしまして具体的取組3-1-1「おまもりネット事業」の推進についてご説明させていただきます。「おまもりネット事業」については、皆様ご承知のことと存じますが、東成区社会福祉協議会に委託している事業で、誰もが住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、高齢者や障がいのある方の希望に基づき、いざという時に安心な、おまもりネット手帳やおまもりネットカードを無料で発行している事業でございます。事業の業績目標としまして、おまもりネットの新規登録者数350人を設定しておりまして、576人に登録をいただきましたので、目標としては達成したものと考えております。具体的取組につきましては、引き続き地域福祉活動サポーターを配置するとともに、区内の65歳到達者1,108人に対しまして事業の周知を行いました。また、地域福祉活動サポーターさんの自らのご提案でもありまして、この事業の相談、説明会を開催してはどうかということで、区役所1階のふれ愛パンジーで28年度は9回開催をさせていただいたところです。29年度も引き続き「おまもりネット事業」をはじめとした地域福祉活動を推進するとともに、要支援者の個別支援のためのコーディネートを行ってまいりたいと考えております。

次に、具体的取組3-1-2、在宅医療・在宅療養の環境整備についてご説明させていただきます。この取組みにつきましては、例えば医療や介護が必要となっても、できるだけ住みなれた地域、できれば住みなれた自宅で最期まで安心して暮らしていけるような、そういった地域づくりを関係機関や地域の皆様のネットワークによりまして進めていこうという取組みです。業績目標としましては、在宅医療・在宅療養について知っている区民の割合60%と設定し、区民アンケートの結果では56%、目標には少し達していないかなといった結果となっております。ただ、ページの下の方に記載させていただいております、改善策にありますように、在宅医療の認知度について「言葉のみ知っている」という方を含めると85%に達しており、目標として達成できているという見方もできるのかなとは思っております。ただ、やはり在宅医療につ

いて言葉だけではなくて、中身を詳しく知っていただくということが重要でございますので、29年度につきましては、在宅医療の内容を詳しく知ってもらえるように、例えば地域での集いの場などに出向いて、身近なところでの普及啓発にも取り組んでいきたいと考えております。28年度の具体的な取組みとしましては、在宅医療や介護に関連する委員の方々に構成します、在宅医療・介護連携推進会議を新たに設置いたしました。医師会をはじめとします三師会や病院連絡会、訪問看護ステーション連絡会、区社会福祉協議会、地域包括支援センター、居宅介護支援事業者連絡会、医師会の在宅医療・介護連携相談支援室といったそれぞれの代表の方に一堂に会していただきまして、在宅医療や在宅療養の推進について、あるいはもう少し広い意味ではそれを支える地域づくり、いわゆる地域包括ケアシステムの構築を見据えて、誰もがができる限り身近な地域、自宅で最期まで安心して暮らしていけるように、会議の構成委員の皆様のお知恵をいただき、ご協力をいただきながら取組みを進めているところです。また、会議としましては実務者の会議も設置しておりまして、そのもとにワーキングも設け、十分な議論を深めながら取組みを進めているところです。28年度の実務者会議については、区の広報紙での普及啓発や、実務者会議での議論をふまえて作成いたしました普及啓発用のリーフレットも発行いたしました。リーフレットにつきましては、会議の構成委員の皆様方がそれぞれにご周知にご協力をいただいております。29年度以降も区民の皆様のご理解が一層深まるよう、こういったリーフレット等も活用しながら普及啓発に努めてまいります。私の方からは以上です。

○北野課長　　続きまして児童・保健担当課長、北野からご報告させていただきます。

次の具体的取組 3-2-1、健康づくりへの意識向上をご覧ください。28年度の業績目標としまして、自分の健康に関心を持ち行動しようと考えた区民の割合を70%以上としており、健康教室などアンケートの結果から、89.7%の方が「健康づくりに関する気持ちに変化があった」とご回答いただきました。具体的に取り組んでまいりましたのは、1つ目としまして、各地域や老人福祉センターなどで保健師が健康教室

を128回実施し、延べ3,450人の方を対象に百歳体操や生活習慣病予防の啓発を行ってまいりました。

2つ目としまして、健康づくりの視点からの食育に関する情報発信としまして、食育レシピ集などをホームページに掲載してまいりました。

3つ目については、6月29日に区民センターで健康づくり講演会、「知ってまっか！いきいき百歳体操」を開催し、219人の方にご参加いただきました。その他区民の方や地域が主体的に健康づくりに取り組めるような啓発活動を、区民まつりや健康展、歯の健康展、食育展などで行ってまいりました。29年度の主な取組みとしましては、引き続き地域健康講座や、いきいき百歳体操の普及、食育の推進など健康寿命の延伸のための活動について啓発に努めてまいります。また、この6月28日水曜日には健康づくり講演会、いきいき百歳体操とウォーキングでつながる健康づくりを区民センターで開催しました。185人にご参加いただいたところです。今年度は特に筋力アップにつながる、いきいき百歳体操の普及に合わせまして、アップした筋力を維持し持久力も増進する活動を重点的に取り組んでまいりたいと考えており、講演会の内容にもウォーキングについて追加いたしました。また、今年度は食育展を8月30日水曜日、健康展は10月12日木曜日、歯の健康展は10月21日土曜日にいずれも区民センターでの開催が決定しております。これら、各団体と協働しまして、健康づくりの啓発活動に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、下の段の具体的取組3-2-2感染症予防対策をご覧ください。業績目標としましては、正しい手洗い方法について理解した手洗い教室の参加者の割合を70%としてまいりました。具体的に取り組んでまいりましたのは、集団感染のリスクが高い高齢者などが多く集まるところに重点的に働きかけ、老人福祉センターや、閉じこもり予防教室、地域のふれあい喫茶の場で独自で作成しました、「ひがしなり手洗いキュッキュッキュの歌」を使って啓発活動を行いました。合計8か所延べ397人の方を対象に実施してまいりました。参加者へのアンケートの結果、正しい手洗い方法に

ついて理解したかとの問いに、「大変そう思う」また、「そう思う」と全員の方に
回答いただきました。次のページをご覧ください。手洗い教室の効果は非常に高いと
考えておきまして、平成29年度につきましては、区民ニーズを確認し、地域ごとのご
要望に応じながら、開催してまいりたいと考えております。私の方からは以上です。

○原課長　引き続きまして13ページをご覧ください。課題4、まちの魅力向上、具
体取組4-1-1、地域活動協議会に対する支援でございます。28年度地活協の地域
運営のあり方に満足している区民の割合、目標50%に対して、区民アンケートでござ
いますが、71%の方が地活協の活動が良いことだというふうに答えていただいております。
なお、このアンケートの中でも30代の方が1番良いことだという事で高い率
でございました。具体的取組については、先進的な区内外の地域との交流などを積極
的に図ってまいりました。29年度についても同様に進めてまいります。

○大野課長　続きまして、13ページ具体的取組4-2-1、多様な協働による地域
活動の活性化についてご説明させていただきます。

暗越奈良街道で実施いたしましたイベント、「ひがしなり街道玉手箱」の開催を
通して、広域多様な市民同士のネットワーク形成を図るとともに、東成区のブランド
イベントとなるよう支援を行う事業でございます。具体的には、運営事務局会議の開
催、参加団体の交流会、ポスターなどの広報物の作成を行いまして、11月3日から6
日の4日間、「ひがしなり街道玉手箱」のイベントを開催してまいりました。業績目
標といたしまして、活動を応援してくださる、または一緒に盛り上げていただける
「タマテバコタウン会員」を募りまして、合計119会員ご賛同をいただきましたけれ
ども、業績目標を150会員としておりましたので、未達成としております。改善策と
いたしましては、多様な活動主体が「ひがしなり街道玉手箱」を通して地域とつなが
ることができるよう、参加団体交流会などの支援をより進めていくこととしておりま
す。今後、東成区の地域支援を活用し、多様な活動主体と地域とがつながる、「ひが
しなり街道玉手箱」の開催に尽力し、その広報、情報発信をしてまいります。

○原課長 14ページ具体的取組4-2-2市民活動団体等との協働による課題解決について、28年度は「私たちのまち、東成盛り上げ隊」事業ということで子育て応援講座などの事業が行われました。29年度につきましても既に事業者が決まっております、区歴史懇談会の皆様などによる東成区ヒストリアルという団体の皆様で、「わがまち東成、勝手に五十三次」事業というので、東成独自のかるたをつくってかるた大会や意見交換会を行っていこうという事業でございます。

4-2-3ふれあいパンジーまちづくり活動支援事業は、28年度は百年長屋芸能ネットワークによる「ひがしなり古典芸能サロン」が行われました。29年度今年度につきましても既に補助事業者が決まっております、今里小学校PTAの皆さんによる、「コネクトストーリー発信プロジェクト」ということで、若い世代と地域の役員の方々との連携していく過程を映像で残そうという事業が行われております。

○大野課長 続きまして、15ページの具体的取組4-2-4、東成区の地域資源魅力発信事業でございますけれども、具体的な取組みといたしまして、「わが町工場見ため隊」でありますとか、「モノづくり体験フェスタ」を実施してまいりました。東成区がモノづくりのまちであるということを知っている区民の割合50%以上を目標としておりましたところでございますが、50%の方に「知っている」と答えていただきまして、目標達成とさせていただきます。今後も、区の特徴であるモノづくりを通して次世代を担う人材育成に取り組んでまいります。

続いて、具体的取組4-2-5、区のにぎわい創出に向けた取組みの強化でございますけれども、区民との協働によるまち歩きとして「深江探訪」を実施してまいりましたところ、「地域の特性について、より理解が深まった」と感じる参加者の割合が100%となりまして、目標の60%以上を達成とさせていただきます。今後もまちの魅力とまちの資源を発掘し、にぎわいづくりにつなげてまいりたいと考えております。

○中須賀課長 総合企画担当課長の中須賀でございます。最後に課題5、「区民が

利用しやすく信頼される区役所づくり」について説明させていただきます。16ページ5-1-1 区政会議運営事業についてですが、業績目標としまして区政会議の認知度を60%以上と掲げておりましたが、実績は41%と残念ながら目標に届きませんでした。取組実績といたしましては区政会議を3回、部会を各2回、合わせて計9回の会議を開催しました。委員の皆様方からいただきましたご意見や会議資料等をホームページで公表いたしますとともに、広報紙において区政運営についての特集記事を組み、その中で区政会議の様子などを広報いたしました。改善策といたしまして、区政会議が開催されていることを知ってもらうだけではなく、こういった内容が話し合わせ、施策や事業が進められているのかを知っていただくことで、区政に対してより関心を持ってもらう必要があると考えておりますので、引き続きわかりやすい情報発信の充実に努めてまいりたいと考えております。

次に、5-1-2 区民の声を把握する取組みでは、業績目標といたしましてアンケートの調査結果などを区の事業に反映させた件数5件としておりました。実績も、5件。これは、子どもの体力向上事業ですとか防犯カメラの設置、まち歩きの実施などです。29年度につきましても、区民アンケートや地域担当職員による情報収集によりまして、より多くの区民の皆様の声把握してまいりたいと考えております。

17ページにまいりまして、5-2-1 広報・情報発信の充実ですけれども、業績目標として、区役所からの広報に満足している区民の割合80%以上としておりましたが、こちらは実績76%ということで、目標に達することはできませんでした。改善策といたしまして、わかりやすく読みやすい広報紙づくりに努めてまいりますとともに、ホームページやツイッター、フェイスブックなど多様な媒体を活用し、さらなる情報発信の充実に努めてまいりたいと考えております。

次に、その下の段、5-3-1 区民サービスの向上ですが、業績目標として、区役所の区民サービスが向上したと感じている区民の割合を70%以上と掲げましたが、アンケート調査の結果では、83%の方にサービス向上を実感していただけたので、

目標を達成したところでございます。今後も引き続き区役所でのサービス向上を心がけてまいりたいと考えております。

最後に、18ページ5-3-2職員力向上についてですが、業績目標としまして、仕事にやりがいを感じている職員の割合を70%以上としておりました。アンケート結果では、75%と目標に達しておりますが、引き続き職員が前向きで主体性、チャレンジ意識を持つことの重要性を認識し、行動につながるよう若手職員の育成や管理監督者のマネジメント力の向上に努めてまいりたいと考えております。駆け足で説明させていただきましたが、以上が平成28年度の区政運営の振り返りでございます。

○清水議長　ただいま区役所より、平成28年度東成区運営方針の振り返りと29年度の事業等について説明がございました。続きまして3部会を開催しておりますので、6月16日、それから6月19日、6月21日と、3回にわたりまして各部会が開催されております。それでは各部会の代表、議長より報告をお願いしたいと思います。まず、にぎわい・きずな部会の松山議長より報告をお願いいたします。

○松山委員　にぎわい・きずな部会の松山です。先日6月21日に区役所にて開催されました、にぎわい・きずな部会の報告をさせていただきます。この部会では、活気あるまちづくりや安全・安心などの分野について意見や提案を述べるということとなっております。今年度は、昨年度からの部会テーマ「にぎわいづくりについて」に基づいた商店街の活性化や地域資源を活用してのまちの活性化、防災、防犯、きずなづくりなどについて、区の実践に対する意見交換を行いました。委員数は16名で当日は9名の出席があり、会議が有効に成立しております。当日の部会での主な意見につきましては、本日配付されております資料3に簡単にまとめられておりますので、ご参照いただきたいと思います。

まず、議題1の平成28年度東成区運営方針の振り返りと29年度の主な取組みについて議論をいたしました。にぎわい・きずな部会に関連する課題といたしまして、課題1「安全で安心なまちづくり（防災、防犯）」、それと課題4「まちの魅力向上」に

ついて意見を交わしました。まず、区役所の取組全体を通しまして、防災時やモノづくりに関するまちの魅力発信などの様々な場面で、区役所と企業の連携を進めているとの報告に対して、「既に地域と企業でラジオ体操や防災時の協力など、個別の連携事例がありますが、東成全体では知られていない。」という問題提起があり、「今後は、区・企業・地域が全体で連携を強化していけばいいのではないか。」という意見がありました。また、「まちの商店街は規模が小さくなっており、工業と商業の横のつながりがいいのではないか。」という問題提起があり、「今後商業関係の芯になっていただくグループなども必要なのではないか。」という意見が出されました。

次に、5ページ上の地域防災対策の支援について、各地域で取り組まれている地域防災対策での工夫について紹介し合いました。地域からの報告では、東成区は昼間の人口では若い人が多いため、商店街の店主や従業員などでも、区外から来られている、地域事情をあまり知らない方々も含めまして、震災訓練に参加を呼びかけている事例。また、中学生にも役割を持たせ、女性部は大人数の炊き出し練習をすることで、3年目には700人規模での震災訓練となったという事例報告がございました。それらの先進事例をヒントに、特に震災訓練は中学生にも参加していただいて中学校校区単位での取組みへと進めていこうという意見がございました。また区役所に対しては、「行政も学校も防災教育支援をそれぞれ一生懸命やっており、29年度の計画にあるように学校園が行う防災教育を支援する、とのことですが、地域と人、学校との連携の際に地域の立ち位置が明確でない。」という問題提起があり、「もっと地域とのつながりを強めて欲しい。」との意見がございました。

次に、13ページ下の多様な協働による地域活動の活性化について、「ひがしなり街道玉手箱」を今後、東成区を代表する一大イベントに育てることができるよう、「賛同企業にもわかりやすい形での事業内容や会計の報告をすることで、賛同企業を増やしていくことができるのではないか。」との意見がございました。

最後に、歴史や文化の視点から、「私たち自分たちのまちをよりよくするために地

域のメンバーで他都市に勉強に行き、まちづくりの参考にした。」という事例報告がございました。具体的には、「行政が関わって、親子で楽しめるひまわり畑の迷路をつくっているまち」、また、「人は減っているけれども、まち並みや景観がすばらしいまち」を見聞きした経験から、東成区には公園がたくさんあるので、各公園の一角を、例えば夏にはひまわり畑にするなど、「季節感のある花で埋めてはどうか。」という意見がございました。

また、昨年は2,400万人以上のインバウンド、訪日外国人が日本の国を訪れました。そのうち940万人あまりの人が大阪を訪れております。大阪市では、2020年にはその倍の人たちに大阪に来ていただけるように、計画を進めております。私たちの東成区にも、来ていただけるようなそんな仕掛け、仕組みづくりをしなければならないと思っております。東成区でも訪問に値する歴史文化をはじめ、地域資源が豊富であると思っております。行政と企業、地域が知恵を絞って仕組みづくりをするのが喫緊の課題であると思っております。

以上、私からのにぎわい・きずな部会の報告でございます。どうもありがとうございました。

○清水議長　　続きまして、保健福祉部会の羽鹿副議長からお願いをいたします。

○羽鹿委員　　それでは、保健福祉部会の羽鹿です。ご報告させていただきます。

6月19日、月曜日午後2時より区役所にて開催されました、保健福祉部会の報告をさせていただきます。この部会では高齢者や障がい者等の見守り支援、区民の健康づくりなどの分野について意見や提案を述べるということになっております。委員数は15名で当日は9名の出席があり、会議は有効に成立しております。当日の部会での主な意見につきましては、本日配付されました資料3に簡単にまとめられておりますのでご参照ください。

まず、議題1の平成28年度東成区運営方針の振り返りと本年度の主な取組みについて、区役所からの説明を聞かせてもらいました。また、その他の事業では、平成29年

2月から実施している「緊急時安否確認（かぎ預かり）事業」について、既に6件の登録があり、関係者と連携しながら推進しているところである。との報告がありました。具体的には警察と区役所、高齢者支援機関が連携し、事前登録しておられる一人暮らしの高齢者については、周囲の人が異変を感じた時に110番に通報すれば、そのかぎを使って緊急時の安否確認ができることなどもわかりました。この事業に関わる意見として、「この事業の利用者ではないが、最近近隣の方の姿が見えないという連絡をうけ、個人的に預かっているかぎで安否確認した。」という事例や、「遠方に住んでいる家族がこの事業ができて安心した。」という事例が報告されました。他には「地域で友愛訪問したところ、一人暮らしで家族が遠方におられる方で、部屋の中でお声は元気だが、体が自由に動かすことができない方もおられた。」「かぎ預かりは東成区独自のすばらしい取組みだが、まだ知らない人、知っていても預けるのに躊躇する人もいるかもしれない。」という意見、また、「おまもりネット事業について、以前説明した時には断られたが、別の時に説明したら、ぜひ登録したいと気が変わられた場合もあったことから、必要な方が必要な時に利用できるように、二度、三度でも個別に働きかけることが大事である、広報に力を入れて欲しい。」との意見がありました。また、「この事業は周りの方が気づいていただけないと、せっかくかぎを預けても役に立たないので、日ごろからのつながりが大事になる。」、「東成区では約5,000人の一人暮らしの高齢者がおられるとのことだが、一人で不安をもっておられる方もおられると思うので、普段は、ふれあい喫茶など誰もが参加できる事業もあわせて地域につながっていくきっかけができればと思う。」との意見がありました。他には、資料2の10ページ下の在宅医療・在宅療養を支援する環境整備に関連して、2月に区で作成された自分らしい最期の迎え方というパンフレットについて、「利用者、患者を中心に医療と介護という車の両輪がうまいぐあいにリンクして、非常にわかりやすいものである。」、「介護と医療と真ん中に個人の暮らしや住まいがあって、そのボトムにある地域が一緒になって地域包括ケアシステムで進めていきたいと思います」とい

うような図なので、支え合いの中で人がつながっていく必要がある。」との意見がありました。

私から一言、民生委員協議会といたしましても、「おまもりネット事業」に積極的に新規登録者を増やしていきたいと思います。また友愛訪問時などにも、この「おまもりネット事業」に積極的に取り組んでいきたいと思いました。私からの保健福祉部会の報告は以上です。ありがとうございました。

○清水議長　　続きまして、子ども・教育部会の田中議長、報告をお願いします。

○田中（英）委員　　皆さんこんにちは。子ども・教育部会の田中でございます。

先月の6月16日午後7時より区役所において開催されました、子ども・教育部会のご報告をさせていただきます。この部会では、特色ある学校づくりや、子育て支援などの分野について、意見や提案を述べるということになっております。昨年度からこの部会では、「子育てネットワークと青少年の健全育成、並びに体力づくり」というテーマを設定し、子育て家庭と地域のつながりづくりや子どもの体力向上などについて議論を行ってまいりました。なお、委員数は13名で当日は9名の出席があり、会議は有効に成立しております。当日の部会での主な意見につきましては、同じく本日配布されました資料3をご参照ください。

まず、議題1の平成28年度東成区運営方針の振り返りと今年度の主な取組みについてを議論いたしました。子ども・教育部会に関連する課題といたしまして、課題2、教育環境と子育て支援の充実について意見を出しました。7ページ上の子どもが育つ良好な環境整備については、学校と地域が連携することによって良好な環境整備が進んでいる事例といたしまして、「ある中学校の運動会の時に、去年は熱中症で倒れる生徒が10人ほどいましたが、今年は地域と学校との連携により、地域のテントを15張借りまして実施いたしましたところ、熱中症対策など健康管理におきまして、大幅に改善することができた。」との報告がありました。一方では、「学校教育の年度の方針については、学校協議会に参加することで地域も把握できるが、学校の運営だけで

なく、学校が区に要請している情報などがあれば保護者や地域を交えての意見交換ができないか。」との問題提起があり、「地域と学校とがしっかりと関わりを持つ上で、区は大きな存在になると考えている。地域でできることもあると思われるので、できるだけ情報を提供して欲しい。」との意見がございました。また7ページ下の子育てネットワークの構築支援事業については、身近な地域で気軽に子育ての相談ができると感じる、子育て中の区民の割合が目標の50%以上に対しまして、実績85%と大きく上回ったという報告がありました。これに関して、「85%という数字は非常に高い数字であり、一方残りの15%の方々はどのように感じているのか。」という問題提起があり、「アンケートでは具体的なことを聞いてみるなど、数字を高める努力も必要ではないか。」という意見がありました。また、「どんな人たちが身近な相談者なのか。」に対しては、「主任児童委員はもちろん、民生委員、児童委員、区役所に家庭児童相談員、子ども・子育てプラザ、区役所の中に子育て支援センターの職員がいる、また地域の子育てサークルに保健師や保育士、子ども・子育てプラザの職員が出張訪問している。」との説明がございました。これらに対して、「区では、ひがしなりだよりやすくすく・つながる子育て情報などで周知しており、自分で探して各地の子育てサークル活動に積極的に参加している方々がいる一方で、例えば主任児童委員の存在についてもまだ知らない方がいるのではないか。」との問題提起があり、「区からの情報を読んでいない人にも、いかに知っていただくかという観点で考えて欲しい。」との意見がございました。

また、8ページ下の保育所待機児童の解消については、「耐震面など難しい点もあると思うが、有効活用ができるものがあれば考えて欲しい。」との意見もございました。その他、7ページ上の子どもが育つ良好な環境整備の29年度の主な取組内容であります、子どもの体力づくりをめざす新規事業、「みんなd eスポーツ」については、「初めての取組みなのでやってみないとわからないことが多いが、子どもたちはスキルを高めるために来ているので、始まる前と後にタイムを計るなどして、結果が出る

なら子どもたちも自信になるし、次年度以降に参加したいという方も増えるのではないか。」という意見がございました。今年実施されます、「みんなd eスポーツ」の結果を楽しみにしております。

私からの子ども・教育部会の報告は以上であります。ありがとうございました。

○清水議長 ありがとうございました。ただいま区役所の方からご説明と、それから各部会からの報告がございました。何かご意見等がございましたら、挙手をしていただきましたらマイクを持って伺います。

その前に原さんにお聞きしたいんですが、こちらから。この安全で安心なまちづくりということで、ちょうど私部会の議事録を読ませてもらったんですけども、700名云々ということが出てますね。これについては、恐らく原さんが参加しておられると思いますんで、この状況がどのような状況で開催されたかちょっとお尋ねしたいんですが。

○原課長 市民協働課長、原でございます。にぎわい・きずな部会の意見の中で、700人規模での震災訓練だったという事例が報告されたと、この点だと思います。これにつきましては、具体的には、北中道地域の事例が部会で取り上げられました。北中道では、地域の皆さんと小学校が連携をしまして、土曜授業と震災訓練をあわせて実施されました。それぞれの町会の一時避難場所に小学校の子どもさんと保護者の皆さん、地域の役員の方々が集合をしまして、そこから小学校まで避難をする、小学校では町会に分かれて教室に入って避難所の体験を行う、こういう取組みでございますが、小学校の土曜授業と地域の震災訓練が連携されたことによりまして、大変多くの参加者の皆さんが、防災訓練に参加したということで効果があったという報告が部会に上がってございました。

○清水議長 これは、参観日とか何かと一緒にやられて、そこへ町会も入って700名からの方が参加したと。私ね、部会の議事録を読んできましたら、そういう点が出てませんので、どうやってやられたのかなと疑問がありましたので。私から質問

しました。他にございませんか、何か。あると思うんですが。誰か質問してくれませんか。

私から再度。これも部会の議事録読んでおったんですけども、これは名前出していると思うんですけど、桑田委員から質問がありまして、玉手箱の件です。これで会計報告もして欲しいというようなことを言われておりました。これらも連合町会長会議には報告するんですか。これ寄附した賛同者には報告してないんですか、大野さん。

○大野課長　　まちづくり担当課長の大野でございます。連長会の方でもご報告させていただいておりますけれども、イベントが終わってから、ひがしなり街道玉手箱2016報告書というものを報告させていただいたところでございます。協賛寄附をいただいた方々に対しましても、同じような書類をコピーしまして、報告はさせていただいているところなんですけれども、まだまだ十分といえる状況ではございませんので、こういうところをまた充実させていただこうと思っております。

○清水議長　　会計報告書いてるでしょ。ところがこれわかりにくいんです。なぜかと言いましたら、青少年育成会議ありますね。この時は区役所から出金したやつはこうこうで使いましたと、いう報告があるんですよ。ところがこの玉手箱の方は、集めた金、大体200万くらいかな、その報告はあります。要は役所の金が、去年は140何万ですか、予算、それを使っておられますね。今年は110万ぐらいに減ってる、その報告がないからわからない。片っぱ役所で出金する、あの人たちは集まった金の報告、見た人は僕らがなれてるからこれはわかるけど、わからん人は印刷代も入ってると思っておられる。ああいうようなマップ、あつらえたものは全部、役所の費用でしょう。その費用もこれ発表していかないかんと思う。桑田さん、えらい名前を出して悪いんですが、いかがでしょうか。

○桑田委員　　賛同の企業からの寄附も集めてるんですけども、その寄附を集めている時にも、前年度はこういうだけのお金を使ってこういうふうになったという会計報告も持っていかないと、相手は納得しないんじゃないかなということで、そのことを

お尋ねしたわけです。

○清水議長 部会の議事録を読ませていただいたら、何か不審な点があるというふうに、とりましたんで。

他に何かございませんか。どうぞ梅本さん。

○梅本委員 この資料の8ページのところで保育所の待機児童の解消ということで、目標ゼロと、待機児童数ですね。区役所に申込みに来られた方が全ていろんなところに入られたということなんですか。

○北野課長 児童・保健担当の北野です。待機児童ゼロの計算の方法なんですけれども、全て申し込まれた方がいらっしゃるって、その中から例えば休職中であつたりとか、あと調査日時点で、求職活動をされてない方、あと他の保育所をあっせん、空きがあるところをあっせんしても、それは希望されない方などは保留児童というふうにカウントされますので、その方々を除いてこちらで入所をあっせんできなかった方はなかったということでゼロになってます。それ以外の保留児童というのが60名ということになっております。申込みはされてますけれども、他の保育所じゃなくてここしかだめという方は保留児童という形でカウントしておりますので、その方々はゼロには入っておりませんので、他のカウントの方に入っております。

○梅本委員 その保留児童っていうのは、その当時求職してないから、それは入ってない、そういう人たちの数ってわかるんですか。

○北野課長 60名。

○梅本委員 60名いてはるわけやね。よく新聞報道で待機児童がゼロやっっていって割には、たくさん潜在的な待機児童がいてるということで、今は東成でもマンションが多く建ってますよね、最近。特に大阪市内の中央とか、北とか西とかいうのはすごくマンションが建って、あの辺特に統廃合で学校、統廃合された結果、学校自体に空き教室がないってということで、今ものすごく問題になってますよね。1,000人規模の小学校が西区でも出てるということで、今生野は統廃合の小学校の動き、城東でもあ

るんですけど、やっぱり保育所も昔、私たちの子どもが入園時は公立の保育所やったけど、今孫が行ってるのは、よく指定管理者とって、公設、民営っていう形で動いてますので、この公的な機関が計画的にこういう保育所とか小学校とか、その辺きっちりしないと、子どもにしわ寄せがいき、西、北、中央、マンモス校になってくる。子どもがおらへんようになったから、統廃合せえいうことでやった結果、今の事態が生まれてると思うんです。少子化で子どもが少なくなるから大きくはできないにしても、きっちりと行政とそういう企業というか、マンションが土地あったら建てようということ、その辺の兼ね合いというのは役所はどういうふうに、まちづくりについて考えてはるんかなと。そういう点も含めてこの教育とか、子どもの良好な環境っていうものを考えてはるんかなと思ってるんで、最近の事情を見てたらもっと行政がまちづくりの中心にならへんと、潰してはつくらなあかんというような状況になるんじゃないかなと思ひまして、以上です。

○清水議長　　また東成の現状は今のところゼロと、これはもう何か計算の方法があるんでしょね。一応ゼロということになってるんですね。

○北野課長　　先ほども申しあげましたけれども、今待機児童ゼロなんですけれども、途中入所を希望される方、特に0歳、1歳、2歳児については、待機していただいているのが現状でございます。今こども青少年局の方が保育所整備をしてるんですけれども、今年度公募しまして、30年4月には80人規模の保育所を2つ、開設する予定になっております。現在も小規模保育0、1、2歳児の小規模保育の公募もしております、できるだけたくさんの事業者さんが手をあげていただけるように、こちらもいろいろ情報提供したりとかいうのには努めております。

○木口副区長　　保留児童につきましては、今、担当課長の方からご説明させていただいたとおりで、あと市全体といいますか、そういう面での対策のことがご意見としてありましたけれども、たまたま東成区では大きな人口の増加もございませんので、今のところはそういう大きなことは起こっておりませんが、市全体としてはそ

ういうふうなこともあります。今のところは東成区は大きな問題にはなっていないということでございます。

○清水議長　来年からですか。0歳児をこの区役所の1階でお預かりすると、これは全部知っておられるんですか、委員さんは。ちょっとこの件、言うたってくださいか。知りはれへんの違うかな。

○木口副区長　区内の保留児童につきましては60名ほどおられるということでございますので、そういう対策ということで、区役所の1階のところの空きスペースを使って保育所を新たに募集する、そういうことを今やっております。そういう対策も随時やらせていただいておりますのでございます。

○清水議長　それからちょっとお尋ねしたいのですが、この区政会議、60%以上を目標にしたんだけど、41ぐらい、これにつきまして、皆さんご意見ございませんか。この会議を知っていない人が多いと、そういう結果ですね。そうでしょう。

○中須賀課長　はい、そうです。

○清水議長　これはどのような調査をされたんですか。

○中須賀課長　区役所の方では、年3回区民の皆さんの中から無作為で1,500名の方をお選びして、アンケート調査を行っております。そのアンケート調査の項目に、区政会議の質問も入れさせていただいた結果でございます。実際には第3回、昨年度、28年度の第3回目の東成区民アンケート、この中に区政会議についての質問を入れさせていただいております。

○清水議長　その以前はなかったんですか、去年初めてですか。

○中須賀課長　こういったアンケートの方法が去年から行っていましたので、それ以前は区民モニター関係の、これはもう少し小規模でございまして、昨年度、28年度から1,500人規模でやらせていただいております。質問としまして「東成区区政会議のことを知っていますか」ということで、選択肢としまして、「よく知っている。」、「少しは内容を知っている。」、「名称は聞いたことがあるが内容までは知らな

い。」、「名称も内容も知らない。」ということで、最後の「名称も内容も知らない。」という方が59%を占められたということです。アンケートは1,500名の方にお配りしますので、アンケートの中にも区政会議、質問の前段として区政会議のご説明をして、ちょっとでも知っていただくというような工夫もさせていただいたところ
です。

○清水議長　　しかし、相手が全然知らない人に聞いてもしゃあないわな。いつも我々事業するでしょう。行事したらアンケートやと、ただ今度は来た人ばかり。だからいいはずなんですよね。それでそうやってやられたアンケートは正しいと思います。41ならいいほう違いますか、と僕は思うわ。それであつたらいかんのやけどね。そんな市民は、区政会議どうのこうの思うてませんな。それも最初からこの区政会議というのは、決議権も何もないんです。だからある程度決まったことをこうこうですよっていう報告があつて、そうですねとまあええでしょうと、こういう会議やからね。これはあかん、こうしてくれ、ああしてくれっていうて、できないんですよね、現実
に。そやからあまりおもしろくない会だと、僕は初めこんなのいらんのやないか言うてましたけど、だけど知らんよりは、ましやからね。しないよりはましだろうと、僕は思って引き受けたのですけどね。持論になりましたけど、ほかに何かございませんか、まだ時間ちょっとありますんで、中野さんいかがですか。

○中野委員　　結構です。

○清水議長　　はい、どうぞ阿形さんですか。

○阿形委員　　あまり区役所の人ばかり責めてもなんでしょうから、最近区役所を利用された方って何人くらいおられますか、この中で。2人、3人。区役所を利用したっていうのは何の用事でもいい。その会合を区役所、受付の方に行かれて何かを証明をとるとか、そういうことで行かれた方、何か感じられましたか。僕ね、昨日行つたんです、区役所に印鑑証明を取りに行つたんです。そしたら今までだったら順番待ちがこんな紙、何番っていう番号を渡されるだけだったんです。昨日はうちわをくれ

たんです。暑いからうちわくれたんかなと思っと思ったら、そのうちわに大きい番号が書いてあるんです。それで呼ばれて初めてそのうちわを持って行って返すんです。皆さん見ていると、待合でうちわをこうやって使ってはるわけ。この企画いいじゃないのと思ってね。あまりそんなこと思わなかったからね。うちわに番号書いてますねん。呼ばれたら来てくださいと言われてたんです。みんなが気に入って、待ってる間、一生懸命あおいでやりました。こういうのもいいな、と思って初めてうれしかったです。だから今度冬は膝掛けとかね、何か違う案を出していただいて、行かれたお客さんを、区民の方が楽しく利用できるように考えていただいたらいいなと思います。それを僕、昨日行って、古いただのうちわですけど、感じ入ったんです。よそ行ったら番号札だけです。よかったと思います。以上です。

○清水議長　なるほど。何かございませんか。

○濱田副議長　僕はあまり発言するのは何なんです、目標70%、実績100%、あるいは80何%、出てるんですが、目標の時は70%は区民全部での状態なのか、そして実績の100%は、どの辺をもって100%なのか、いうことで、%だけだともすごく高くなっても内容的に人数がどのぐらいの人数で回答があったのかということが、わかりにくい。例えば資料の11ページ、手洗いというのがあったんですが、手洗い教室の参加者の割合が100%、70%が100%、良かったんですが、その質問が62%が「大変そう思う。」、「大変そう思う。」ってどういうことなんだろう。手洗い方法教室に参加して、「大変そう思う。」ってこれ質問の内容が書いてなかったら、何の意味かわけがわからん。それが100%やったってどういうような意味での質問で100%、62%と38%ということはわかりにくいです。やっぱりある程度数字で書かなかつたら%になったら3人か5人ほどあたりでも100%になる場合があるし、1,000人おつても100%にならないだろうと。漠然と100%が高かったら喜んでこれちょっと問題があるんじゃないかなと思うんです。区民の総数っていうのは皆さん頭に入れたい欲しいんです。特に成人者の、

区民がどのくらいおられるかということを入れた中で実績が出てきているのか、そうやなくて、先ほど質問があったように区役所に来た人の中での実績の%ということで、ちょっと気になることがあるので。

それから学校。災害の時に学生にいろいろと協力をしてもらう、小中学生、ただ東成が残念なことには高等学校とか大学がありません。それがために災害の時に協力を求めるというと年寄り、高齢者等の、あるいは幼稚園児の誘導とかお手伝いというような時にできないんじゃないかなということ、もう少し何か方法を、それがためにまちで地区で防災活動を十分ようやっておられると思うんですけど、戦力に中学生以下がなるのかならないのかということ、これもやはりしっかりと認識した上で、防災に対応、災害に対応するような行動をとるようなことが必要じゃないかなというようなことを、今日発表の中でちょっと感じたんですが、意見というよりも感じたことをちょっと質問がなかったので申し上げた次第です。以上です。

○清水議長 他に何か質問ございませんか。何かありますか。

○岡坂委員 今、東成区で大阪市が所有しております土地、空き地ですが、今どのくらいありますか。防災訓練で一時避難場所としてちょっと借りようかなと思ったら、今回使えないということでちょっと聞いたんですけど。玉津2丁目の広い土地を一時避難場所として使いたいなと思ってお願いしたんですけども、かぎを預かったという人が役所の方から、かぎを返してくれと、土地を売るということで聞いたんですが。

○原課長 市民協働課長、原でございます。玉津の未利用地ですけども、大変大きな三角の土地でございます、この間ずっと利用されずにそのまま空き地であったものですから、そこを大成地域の皆さんが災害時の一時避難場所にぜひとも活用したいというご要望をいただきまして、所有している局の方と協議した上で覚書を交わして、そこのかぎを大成の方にお渡しをして管理していただき、災害時に使っていただくような環境を整えていたということでございます。

今年度にその土地を売却するということになりまして、一応予定では年度内に売却するということですので、売却が決まった時点でかぎについては返却をしていただいたということですのでございます。

9月には震災訓練が行われますので、その時はまだ空き地のままでございますから、訓練については、かぎを開けて利用していただくというふうに思っております。けれども、いずれにしましても多分もう年度内、もしくはその前後に売却をして民間に売却をして新たなものに活用されるというふうに伺っておりますので、その辺はご理解よろしくお願いいたします。

○岡坂委員　　そしたら9月の防災訓練の時は使える、9月は利用できるんですね。

○原課長　　はい。

○岡坂委員　　わかりました。

○清水議長　　それでは質問もないようでございますので、本日の会議はこれで閉会いたしたいと思えます。ほんとうにありがとうございました。何か役所の方からございますか。

○麻野区長　　それでは最後に私の方からご挨拶をさせていただきます。本日は清水議長初め、委員の皆様方、スムーズな議事進行にご協力いただき、まことにありがとうございました。様々なご意見をいただきまして、防災のあり方、イベント実施の事業実施のあり方、それから子育て、あるいは教育の施策に対するご意見、あるいは区役所のサービスと申しますか、うちの番号札、そういった楽しい区役所にして行くといったご意見、アドバイスをいただきました。今回いただいた貴重なご意見につきましては今後の区政の推進に役立てていきたいと思っておりますので、引き続き皆様のご協力をお願いいたしたいと思えます。

現在区政会議委員になっていただいております皆様方の任期満了が、今年の9月末となっております。つきましては、関係する所属団体あてに10月以降2年間就任いただく委員の推薦の依頼をさせていただく予定となっておりますので、よろしくお願

いたします。

それから公募委員の募集も行う予定となっております。なお、2期4年間にわたりご就任いただきました方につきましては、条例で引き続き3期目をお願いすることができないということになっております。2期4年就任いただきました委員の皆様に対しまして、この場をお借りしまして改めてお礼を申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。引き続き東成区の区政にご理解、ご努力を賜りますようよろしく願いいたします。

○中須賀課長　ほんとうにありがとうございました。これを持ちまして平成29年度第1回区政会議を終了させていただきます。